



図1

## GOOD DESIGN AWARD 2015

教育普及プログラム [ 森のスケッチブック - 彫刻の森美術館でのスケッチ体験 - ] が  
「2015年度グッドデザイン賞」を受賞

彫刻の森美術館（公益財団法人彫刻の森芸術文化財団）とマルマン株式会社が共同開発した図案スケッチブック One Day 彫刻の森美術館 ver. を使った美術館内での教育普及プログラム [ 森のスケッチブック - 彫刻の森美術館でのスケッチ体験 - ] が、このたび2015年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）を受賞しました。この教育普及プログラムによって、美術館のコレクション等とプログラム参加者との間に良質なコミュニケーションを生み出すことを目指した結果、特に「アート鑑賞を言葉にするのではなく、自らアートそのものに変換することによってアートに参加していく仕組みは画期的」（※審査委員会の評価コメントを引用）として高く評価されました。彫刻の森美術館とマルマン株式会社では今回の受賞を契機により多くの方々が美術と出会う機会の創出を図るとともに、その拡充をより一層積極的に推進してまいります。







図 2

図 3

図 4

【教育普及プログラム名称】

## 森のスケッチブック - 彫刻の森美術館でのスケッチ体験 -

【概要】

彫刻の森美術館とマルマン株式会社が共同開発した図案スケッチブック One Day 彫刻の森美術館 ver. を使った美術館内での教育普及プログラム。7万㎡の敷地を有する野外美術館の中で、所蔵作品や美術館を取り巻く風物とプログラム参加者とのコミュニケーションを促進する教育普及プログラムは、美術館という特別な場所、良質なスケッチブックとシンプルなイラストによって成立している。その他にも、質の高い色鉛筆や専門知識を持つエドゥケーター、プログラム運営スタッフの存在によって、ワークショップ参加者が美術館での素晴らしい体験をさらに深めていける構成となっている。

プロデューサー：彫刻の森美術館 学芸員 小林俊樹

ディレクター：マルマン株式会社 企画グループグループ長（～2014年度） 今井俊隆

デザイナー：のぐちようこ

【デザイナーからのコメント】

一人一人、彫刻作品や箱根の風景を見て、面白いなあ、不思議だなあ、と感じることは色々だと思います。一緒に手を動かして、切ったり、貼ったり、描いたりしている中で、そんなところに興味があったのだなあ、よく見ているなあ、と新しい発見があると思います。また One Day の線や形からむくむくと発想が広がって脱線していても構わないと思います。広々とした彫刻の森の中ででのびのびと楽しんでもらえたら嬉しいです。

【グッドデザイン賞審査委員による評価コメント】

彫刻の森美術館とマルマン株式会社が美術館内での教育普及プログラムに向けて開発した図案スケッチブック。感性教育という難しいテーマを既存の製品であるスケッチブックに想像や気づきを引き出すような補助線を施すことで、参加者が気軽に体験を深めていけるよう設計されている。アート鑑賞を言葉にするのではなく、自らアートそのものに変換することによってアートに参加していく仕組みは画期的であり高く評価された。

【グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ】

<http://www.g-mark.org/award/describe/43225?token=dPZR9GV57I>

もしくは、「グッドデザイン賞ウェブサイト」→「受賞対象一覧」→「森のスケッチブック」で検索してください。





## グッドデザイン賞受賞展 「グッドデザインエキシビション 2015 (G展)」に出展

本年 10 月 30 日 (金) から東京ミッドタウンで開催される、最新のグッドデザイン全件が集まる受賞展「グッドデザインエキシビション 2015 (G展)」会場で、教育普及プログラム [ 森のスケッチブック - 彫刻の森美術館でのスケッチ体験 - ] が本年度受賞デザインとして紹介されます。

### [グッドデザインエキシビション 2015 (G展)]

会期：10 月 30 日 (金)～11 月 4 日 (水)

会場：東京ミッドタウン (東京都港区六本木)

<http://www.g-mark.org/meeting>

グッドデザイン賞とは

グッドデザイン賞は、1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を発端とする、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨の運動です。これまで 59 年にわたり、デザインを通じて日本の産業や生活文化を向上させる運動として展開され、のべ受賞件数は 40,000 件以上にのぼります。今日では国内外の多くの企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞で、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「G マーク」は、すぐれたデザインを示すシンボルとして広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>

※図 1～図 4 の写真データを用意しています。下記お問い合わせ先までご請求ください。

このプレスリリースに関するお問い合わせ先

1. 彫刻の森美術館 (公益財団法人彫刻の森芸術文化財団) 展示 / 運営部

担当：福間光宣

TEL：0460-82-1161 FAX：0460-82-1169 E-mail：fukuma@hakone-oam.or.jp

2. マルマン PR 事務局 (株式会社プラップジャパン)

担当：荒川、平田、岡部

TEL：03-4580-9101 E-mail：maruman\_pr@ml.prap.co.jp



彫刻の森美術館 × maruman®  
THE HAKONE OPEN-AIR MUSEUM